

ンコドリト呼ブ、此鳥深山ナラデハ居ラズ、故ニ俗諺ニ幽閑ナルコトヲカンコドリ鳴ト云フ、然ルニ古ヨリホト、ギスヲ郭公ト書スルハ非ナリ、鳩鳩ノ形鶴ニ似テ大サ鳩ノ如シ、尾長ク目ハ鷹ニ似テ淡黄褐色ナリ、郭公ハ淡赤ニシテキザアリ、背黒ク下ノ本黄色末尖リテ鳩ニ似ズ、脚ハ黄色ニシテ赤皺アリ、ソノ指前二後二、ソノ爪尖テ黒シ、全身黒文灰黒雜ル、吻ト腹ハ淡黄ニシテ白黒文アリ、喉下ハ微ク淡黒ヲ帶ブ、尾ヅ、赤褐色ニシテ端淡青色、尾ハ灰赤ニシテ白點アリ、尾ノ端白シ、農夫此鳥ノ鳴ヲ聞テ、豇豆粟等ヲ下種スルノ候トス、此鳥形大ナレドモ、柴鶴又ホジロノ巢ニテ子ヲ育ス、又一種佐州ニテカツコウドリト呼ブ者ハ、形小クシテ伯勞ニ似タリ、背モ大抵似タレドモ末曲ラズ、其尾微長ク頭背肩共ニ淡赤微黒色、咽胸腹ハ白色、翅尾共ニ黒色、脚ハ黄赤、其指亦前後各二、フミ分テ啄木ノ如ク、其飛ブコト最疾シ、是八閩通志、福州府志ニ、郭公頭尾黒而身赤、一名赤鳥ト云、秦順縣志ニ、郭公身赤頭尾黒ト云フモノナリ、又鳩鳩ヲツ、ドリト訓ズル説アリ非ナリ、

〔喚子鳥〕下か。つ。ほ。う。鳥。

五がひ 生五壹夕、あをみ入、粉壹夕

大ききみねかいらに同じ、總身ねすみくろし、さへづり大おんなり、かい鳥に成がたし、大むしくひ、ほと、ぎす、みねかいら、かつほう、何れもまぎらはしくにたるものなり、よはきたぐひにて、冬をこしがたし、

〔飼鳥必用〕下か。つ。か。う。鳥。

一。名。大。虫。喰。と。云。

此鳥春より五月頃迄、江戸在にて産巢して啼なり、勿論子も親も其節出るもの也、籠の内にては野にて鳴やうには啼ざる鳥也、よつて人々あまり賞翫せざる鳥也、尤頬白の巢へ玉子落し、頬白に生立さするなり、餌飼時鳥と同斷、

〔倭名類聚抄十八族名〕布穀鳥

兼名苑云、鷓鴣、一名鷓鴣、虛葛吉菊四音和名布々土利、布穀也、

布穀鳥